

令和5年度 山北町地域公共交通会議（神奈川県山北町） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

本町は、神奈川県の西部に位置し、広大な町域を有しているが、その約90%は山岳地帯であり、その中に集落が点在している。令和2年の国勢調査では、人口減少率が9.0%と県内で最も高く、高齢化率も40%を超えている。

本町の公共交通機関は、JR御殿場線（町内に3駅）と富士急湘南バスが運行されているが、年々、利用者が減少していることなどにより、運行便の増加も望めず利便性が低い。特に山間地域の住民は、鉄道駅やバス停まで離れていることもあり、自家用車による移動に頼らざるを得ない。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

本町の住民は、自家用車による移動に頼った生活をせざるを得ない状況であり、今後も高齢化率が上昇することが見込まれる中で、町としては、交通弱者のさらなる増加や運転免許証の返納などによる、移動手段の不安・不便の解消に努める必要がある。

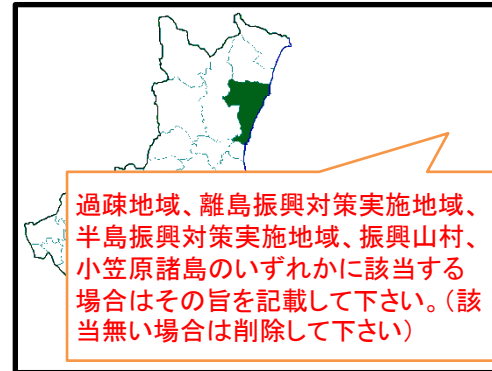
このため、現状の公共交通機関や、町が実施しているコミュニティバス等生活交通支援事業などを分析・検証し、本町における持続可能な交通体系の再構築を行うことが喫緊の課題となっており、そのマスタープランとなる計画の策定を行うものである。

アピールポイント

路線バス及び町が運行しているコミュニティバスについては、これまでも利用者から様々な意見をいただいたところであるが、今回の計画策定にあたり、平日と休日の二日間、全ての運行便について乗降客調査を行い、その利用状況が明らかになった。

また、アンケート調査については、16歳以上の町民1,500人を対象に行ったが、回収率が50%を超えており、町民の公共交通に対する関心が高いことを改めて確認するとともに、様々な意見を確認することができた。

（調査事業を行うにあたって創意工夫した点、計画のアピールポイント等を記載）



面積	244.61km ²
人口（R5.4.1時点）	9,559人
15歳未満	782人
65歳以上	4,005人
高齢化率	41.89%

協議会開催状況

令和5年度の開催状況（予定含む）

- ・第1回（5年6月30日）
→事業計画・予算、アンケート調査について
- ・第2回（5年10月11日）
→アンケート調査、計画骨子、指標について
- ・第3回（5年12月25日）
→計画素案について
- ・第4回（6年2月下旬）
→計画の策定について

○参考資料として以下の資料を添付

・地域の交通体系図 等

・計画骨子、概要版 等